

令和2年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 開催日時 : 令和2年11月26日(木) 14:00~15:30

2 開催場所 : 池田高等学校 会議室

3 運営協議会メンバー

①運営協議会委員(委嘱委員)

会長	桑畑 進	(学識経験者)	大阪大学教授
	萬川 幹夫	(学校の運営に資する活動を行う者)	同窓会会長
	栢木 修	(地域住民)	池田市立石橋中学校校長
	太田 高正	(地域住民)	旭丘自治会
	鍋島 浩	(学校の運営に資する活動を行う者)	後援会会長
	松山 正義	(保護者)	P T A会長 ㊞

②事務局員(校内出席者)

山名 正志	校長
津田 佳弘	(事務局 長) 教頭
中井 長朗	(事務局 員) 事務長
神宮 雅彦	(事務局 員) 首席
中野 亮平	(事務局 員) 首席 ㊞

4 内容

- (1) 校長挨拶
- (2) 配付資料の説明
- (3) 選定使用教科書の閲覧
- (4) 授業見学等 : 各学年LHRの見学、改修予定トイレの確認
- (5) 学校運営協議会実施要項の改定についての報告
: 第10条「議事」に関して、オンライン会議システムを利用できる旨を追記。
- (6) 協議

5 協議事項

(1) 今年度の学校運営協議会会長の選出 会長: 桑畑委員

(2) 令和2年度学校経営計画の進捗状況についての報告

校長より、配付資料に基づき進捗説明

- 1) めざす学校像 - 普通科高校として高い進学実績と豊かな学校生活を実現したい。
進学実績を向上させる具体的な目標を設定した。
- 2) 自学自習力の育成 - 進学実績の向上には自学自習習慣の育成が必須である。
教科指導研究委員会を中心に、全校あげて具体策を検討する。
- 3) 学習と行事・部活動の両立 - 6月学校再開後、生徒が部活中心の生活になっている
と答える者が例年より多く、そのことを懸念している。
- 4) 授業アンケート - ほぼすべての項目で前年度比向上している。引き続き努力する。
- 5) 土曜講習 - 土曜補充授業日設定のため、今年度は中止した。
- 6) 英語力向上 - 語学研修、エンパワメントプログラムは今年度は中止した。来春の

英語発信力養成講座は開催予定で準備中。

7) 学校施設改修 - 相談室にエアコン設置できた。中館男女トイレとプール横トイレの改修予定。

8) 学校広報 - 今年度は縮小して実施した。11月のオープンスクールは例年より参加者多く、中学生の関心は大きい。

(3) 意見交換

委員 経営計画の前校長時代との違いと、授業アンケートは、1～4点で評価されていると思うが計算はどのようにしているのか。

学校 基本的に変えていないが進学実績により注力。計算方法は平均値をとっている。

委員 学習意欲を高めるしかけとして、あえて難しい内容を要求することも必要である。

学校 おっしゃる通りである。

委員 文科省が推進する共通テストの流れに対する具体的な方策は考えているか。

学校 まずは共通テストへの対応を通して、論理的な力の育成に努めていく。

委員 授業アンケート結果では、自学自習項目に弱点が見られるが、対策はあるか。

学校 教科指導研究委員会を中心に、自学自習の現状把握を行う。自学自習に向かわせるきっかけとして、入学後早い段階に進路目標を定めさせる。

委員 アクティブラーニングによって授業進度が遅れることが懸念されるのではないか。

学校 効果が期待される部分でペアワーク等の活動を取り入れる。授業の組み立て方を工夫する。

委員 学力の種類を「暗記中心の基礎学力」と「知識を組み合わせる現実社会に対応できる力」に分類したとき、中学校では7：3の割合で授業を進めていこうと教員に指示しているが、高校では5：5で進めてもらいたいという思いを持っている。

学校 指摘を踏まえて、中学校で育てていただいた生徒の学力を育成していきたい。

委員 TPOに応じた挨拶、相手の目を見ての会話、など本校生の基本的なコミュニケーション能力に弱さが見られるようになってきていることが心配である。

学校 挨拶指導を地道に進めている。

委員 本協議会の委員向け連絡の方法をメールに変えてみてはどうか。

学校 今後、メールでの連絡に変更する。

6 次回開催予定 : 2021年2月3日(水) 14時